

青工研かわら版 9月号 vol 1



第1ブロック 第6回 ブロック会

テーマ **喜びの探究！5～協業事業を生み出せ！～**



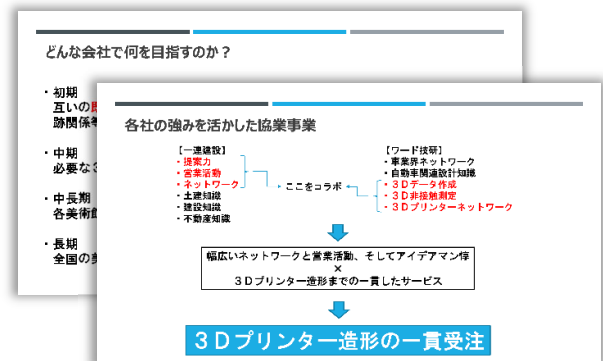
開催日 2022年9月12日
時間 19:30～21:40
開催場所 商工会館
担当者① 川井 聡 (株式会社ワード技研)
<https://word-g.com/>
担当者② 木村 惇 (一連建設株式会社)
<http://ichiren.co.jp/>



ブロック会の目的と手段

本ブロック会では、企業同士の協業により、新しい事業を生み出す切っ掛けを得る事を目的に行われました。

前半は、担当者（企画者）の会社である(株)ワード技研と一連建設(株)が協業するにあたり、3Dプリンターを利用した事業の構想についてプレゼンが行われました。



その後、協業の現実性があるか、より良い事業内容にする為の意見が多く出ました。



ブロック員間での協業の創出

後半は、ブロック員同士でランダムにペアを作り、ペアの企業によるお互いの協業事業の立案を行いました。

その後、それぞれのペアで、お互いの特徴を活かした協業内容が発表されました。



担当者（企画者）からブロック会を終えて

担当者（企画者）① 川井 聡

協業事業の討議に絞り、事業の概要や利益をより具体的にし、参加するブロック員にどの立場で意見を出して貰いたいかを明確にするべきだと感じました。



反省点ではありますが、今回の協業事業を本気でやりたいのかを改めて考え、新たな協業事業の可能性を更に広げる見解を持てた事が良かったです。

今後については、美術品複製事業を進めたいと思います。そして、思い出や体験の 3D 化事業を検討し、ブロック内に発信して行きます。

担当者（企画者）② 木村 惇

ブロック会の中で見つけた一番の課題は、今後企業として、新しくチャレンジする体制を、どの様に作って行くかという事です。



直ぐにこれといった解決策は見つかりませんが、今後の体制作りを活かして行ければと考えております。

そして、本業である土木工事が手一杯の状況の中、私の余力で不動産事業を進めている状況なので、多少の余力を会社として作っていく為の仕組み作り邁進して参ります。

記者としての感想

記者：野田剛弘

今回のブロック会について、ブロック員からは真剣に成功する為にはどの様にしたら良いかという意見が多く出ましたが、担当者が本気でこの事業を成功させようとした内容では無かった為、中途半端な形でブロック会を迎えてしまいました。

今回のブロック会を経て、考慮しなければいけない部分が明白になった為、今後この事業を本格的に成功させるために担当者には頑張っていたきたいです。